

行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	科学技術・学術に関する分野横断的な政策の企画立案のための調査		事業開始年度	平成20年度	作成責任者	
担当部局庁	科学技術・学術政策局		担当課室	計画官付	計画官 柿田 恭良	
会計区分	一般会計		上位政策	科学技術システム改革の先導		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	第3期科学技術基本計画 (H18.3 閣議決定)		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	科学技術を一層発展させ、その成果をイノベーションにつなげるため、文部科学省科学技術・学術政策局の所掌事務である「科学技術に関する基本的な政策の企画及び立案並びに推進」、「科学技術に関する研究及び開発に関する計画の作成及び推進」及び「資源の総合的利用に関すること」等に関する調査を機動的に実施する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①分野横断的な科学技術・学術政策であって、その時点において重要性の高い政策の企画立案に資する調査、②技術者及び研究者等の科学技術系人材、地域科学技術などの分野横断的な研究開発計画の作成に資する調査、③我が国の科学技術・学術政策の企画立案、評価等に必要となる国内外の科学技術・学術政策関連指標に関する調査・分析のうち、毎年度、その時点で重要性・有用性の高い課題を選定して調査を行う。					
実施状況	平成20年度(4課題):新たな健康の維持増進に関わる食品成分等に対するニーズ調査、科学技術関係人材の現状及び需要に関する調査、科学技術の理解増進活動に係る実態調査(科学コミュニケーターの現状調査)、大学等におけるフルタイム換算データに関する調査 平成21年度(3課題):新たなたんぱく質量推定に関わるアミノ酸組成に対する検証分析調査、科学技術関係人材の需給の現状及び将来動向に関する調査、数学・数理科学と他分野の連携・協力の推進に関する調査・検討～第4期科学技術基本計画の検討に向けて～					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)		59	46	25	—
	執行額		53	40		
	執行率(%)		89.8%	87.0%		
	総事業費(執行ベース)		53	40		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	契約に基づき提出された業務実績報告書により、業務の結果及び収支等を確認している。その後、職員を現地に派遣し、証拠書類等を調査することにより、用途の確認や支出の適正性の確認を行い、具体的な委託費の額を確定している。				
	見直しの余地	前年度より次年度の調査課題の選定作業を始めているが、一般競争入札の手續に2～3ヶ月程度要することから、年度中頃の契約(調査開始)となる場合もある。そのため、課題選定作業のより計画的な実施を図るとともに執行実態に即した単価等の見直しを図る。				
予算・監視・効果見率化	1. 事業評価の観点:この事業は、分野横断的な科学技術・学術政策の企画立案に資する調査研究を機動的に行う調査研究事業である。 2. 所見:3年以上継続している調査研究事業であり、分野横断的な科学技術・学術政策に関する調査を行う事業は本事業以外にも存在していることから、いったん廃止し整理統合すべきである。その際、真に機動的な調査研究を実施できるよう、調査テーマのさらなる大括り化やテーマ数及び決定手法の見直しを行うなど、予算を縮減すべきである。					
補記						

文部科学省
40百万円

庁費、諸謝金、委員等旅費
0.1百万円

を含む

科学技術を一層発展させ、その成果をイノベーションにつなげるため、科学技術に関する基本的な政策の企画及び立案並びに推進等に関する調査を機動的に実施。

【一般競争入札・委託】

A 新たなたんぱく質量推定に関わるアミノ酸組成に対する検証分析調査
(財)日本食品分析センター
14.2百万円

アミノ酸組成を基礎に導かれる新しい「窒素-たんぱく質換算係数」を用いて新たなたんぱく質量を算出し、日本食品標準成分表の改訂に向けた基礎資料とする。

【一般競争入札・委託】

B 科学技術関係人材の需給の現状及び将来動向に関する調査
(財)未来工学研究所
9.5百万円

我が国の科学技術関係人材の需給の現状及び将来動向について分析し、今後の政策立案に資する基礎資料を得る。

【企画競争・委託】

C 数学・数理科学と他分野の連携・協力の推進に関する調査・検討～第4期科学技術基本計画の検討に向けて～

九州大学 11.8百万円	東京大学 4.2百万円
-----------------	----------------

数学・数理科学と他分野との連携・協力に関する需要調査等を行い、今後の振興方策を検討。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.(財)食品分析センター					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	担当職員・補助者給与等	5.2			
消耗品費	試料購入費	2.8			
損借料	機材リース費	2.5			
一般管理費		2.4			
その他	国内旅費、印刷製本費、消費税相当額	1.3			
計		14.2	計		0
B.(財)未来工学研究所					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	担当職員・補助者給与等	5.9			
業務実施費	消耗品費、国内旅費、諸謝金、印刷製本費、雑 役務費、電子計算機諸費、消費税相当額	2.0			
一般管理費		1.6			
計		9.5	計		0
C.(国)九州大学					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費 (調査請負)	アンケート調査(用紙作成・発送・集計含 む)	5.7			
国内旅費	実行委員会・有識者検討委員会・シンポジ ウム出席、インタビュー調査等	2.0			
外国旅費	海外研究機関等の現地調査	1.5			
その他	消費税相当額、一般管理費	1.2			
印刷製本費	シンポジウムポスター及び報告書の印刷	1.1			
雑役務費 (その他)	シンポジウム同時通訳	0.3			
計		11.8	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出さ
 れている者について記
 載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるよ
 うに記載)